

## <2000 (平成12) 年>

- 1月12日 30年のあゆみ編集委員会  
1月28日 第9回運営委員会  
2月12日 補助金によりエアコン2台、扇風機2台  
パソコン購入  
2月15日 保育課へ要望書提出  
2月25日 第10回運営委員会  
くるみだより第84号発行  
2月27日 第15回近畿ブロック病児保育学習交  
流会 (於:寝屋川松柏苑、7名参加)  
3月1日 枚方病児保育30年のあゆみ発行  
3月11日 近畿ブロック病児保育学習交流会反  
省会  
3月23日 要望書の件で保育課へ  
3月24日 第11回運営委員会  
3月31日 役員会  
4月14日 第12回運営委員会  
4月28日 第13回運営委員会  
5月21日 第10回全国病児保育協議会総会  
(於:大阪)  
5月29日 第31回共済会総会  
6月9日 第1回運営委員会  
7月14日 第2回運営委員会  
8月4~5日 第32回全国保育団体合同研究会  
(於:横浜2名参加)  
8月25日 第3回運営委員会  
9月3日 手作り品製作講習会(於:病児保育室)  
9月8日 第4回運営委員会  
9月19日 対市交渉、保育課へ要望書提出  
10月13日 第5回運営委員会  
10月18日 枚方子どもまつり実行委員会  
10月28日 ギンガ保育園バザーに参加  
10月29日 第24回枚方子どもまつりに参加  
(於:啓光学園)  
11月1日 第6回運営委員会  
11月3日 香里ヶ丘愛児園バザーに参加  
11月11日 藤田川保育所バザーに参加  
11月11日 近畿ブロック病児保育学習交流会  
実行委員会  
11月19日 香里団地保育所バザーに参加  
11月25~26日 全国病児保育協議会研修会に参加  
(於:大阪サンパレス)  
12月8日 第7回運営委員会(兼忘年会)

### ■少子化対策臨時特例補助金の交付■

厚生省から市を通して少子化対策臨時特例補助金(698000円)が交付されました。運営委員会、役員会などで協議を重ねた結果、保育室のエアコンと扇風機を新調し、パソコン一式を購入することになりました。今まで手書きだった報告書など、日々の事務がパソコンで入力、管理できるようになりました。時代の流れとは言えパソコンを前に、マウスでさえまともに動かせない超初心者の職員は操作に四苦八苦。「手でかくほうが早いよ?」と嘆いていました。

### ■枚方病児保育30年のあゆみ発刊■

昨年から編集に取り掛かっていた枚方病児保育室の30年のあゆみを3月に発刊することができました。歴史を重ねた病児保育の「あゆみ」は全国病児保育運動の資料としても活用していただけますので、全国保育団体研究会に持参しました。また共済会の運営委員さんが各保育所で1部500円で販売して、おかげさまで完売することができました。

### ■非課税世帯の利用料分が市負担に■

毎年の対市交渉で要望を出していた非課税世帯の利用料について、今までは保育室が独自で負担をしていますが、国の新しい基準を受け、2000年度からは、所得税、住民税が免除されている世帯について市が負担することになりました。また2001年度からは、住民税のみの課税世帯についても、利用料の半分を市が負担するということになりました。

免除の世帯については、共済会への入会も免除になり、保護者への負担を軽減しています。

利用者誰もが利用しやすい病児保育室を作ることが今後の病児保育の発展に繋がると思っています。

## <2001 (平成13) 年>

- 1月12日 第8回運営委員会  
1月13日 近畿ブロック病児保育学習交流会実行委員会  
2月9日 第9回運営委員会  
2月15日 役員会  
3月4日 第16回近畿ブロック病児保育学習交流会（於：メセナ枚方）  
3月9日 第10回運営委員会  
くるみだより第85号発行  
3月14日 市役所保育課職員と会談（於：保坂小児クリニック）  
3月23日 役員会  
3月26日 市役所保育課職員と会談（於：保坂小児クリニック）  
4月7日 近畿ブロック病児保育学習交流会反省会  
4月13日 第11回運営委員会  
くるみだより第86号発行  
4月27日 第12回運営委員会  
5月11日 第13回運営委員会  
5月19～20日 全国病児保育協議会総会  
5月26日 常称寺保育園バザーに参加  
5月27日 第32回病児保育共済会総会  
5月31日 市役所担当職員との交渉  
6月8日 第1回運営委員会  
7月13日 第2回運営委員会  
くるみだより第87号発行  
8月5日 第33回全国保育団体合同研究集会（於：神戸、職員3名、運営委員3名）  
8月10日 第3回運営委員会  
9月8日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会参加  
9月14日 第4回運営委員会  
9月28日 枚方こどもまつり実行委員会  
10月12日 第5回運営委員会  
くるみだより第88号発行  
10月20日 役員会（就業規則について）  
10月27日 ギンガ保育園バザーに参加  
10月27～28日 全国病児保育協議会10周年記念研修会（於：東京、青山学院大学）  
10月28日 第25回枚方こどもまつり参加（於：啓光学園）  
11月9日 第6回運営委員会  
11月10日 藤田川保育所バザーに参加

## ■近畿ブロック病児保育学習交流会■

1985年に枚方と寝屋川で職員の学習と交流の場として始まった近畿ブロック学習交流会も近年の病児保育の広がり、年々参加者が増え、会場を探すのにも一苦労。また交流会も人数が多くなると満足に話ができない事から、来年度から南北が分かれて交流会を持つことになりました。

第17回近畿ブロック学習交流会は、大阪天満橋にあるドンセンターで行われ、午前中は北グループ、午後からは南グループに別れて交流をしました。

参加者の意見として、人数が少なくても密度の濃い話し合いが出来ましたが、半日ではやはり物足りない。という意見が多く、みんなの学びたい！という気持ちかひびひと伝わってきました。また、今までの交流で出会った仲間と別れての交流となったため、北と南一緒にいいという意見もありました。

事務局についても、協力施設を増やし、職員の勉強の場が広がることを期待します。

## ■ホームページを開設しました■

パソコンの普及が急速に広まり、近年情報の検索がパソコンで行われるようになってきました。共済会の運営委員さんの中には、パソコンが得意の方がたくさんおられたので共済会主体で、ホームページを作ることになりました。

利用案内、病児保育の歴史、保育室の四季など、たくさん情報を提供してきました。最初のころは、「ホームページをみて・・・」と問い合わせもありましたが、ホームページを作ってくれた共済会の役員さんの子どもの卒園とともに運営委員が交代し、最近は久しく更新できない状態になっています。

パソコンの得意な方がいれば、ぜひお手伝いいただければと思います。

- 11月18日 香里団地保育所バザーに参加  
 12月1日 役員会  
 12月14日 第7回運営委員会  
 くるみだより第89号発行

### <2002 (平成14) 年>

- 1月5日 役員会  
 1月11日 第8回運営委員会  
 1月26日 近畿ブロック病児保育学習交流会実行委員会  
 2月8日 第9回運営委員会  
 2月26日 市役所担当職員と交渉  
 3月3日 第17回近畿ブロック病児保育学習交流会(於:大阪ドーンセンター)  
 3月8日 第10回運営委員会  
 3月26日 市役所担当職員と交渉  
 3月26日 枚方病児保育室ホームページ開設  
 4月12日 第11回運営委員会  
 4月26日 第12回運営委員会  
 5月10日 第13回運営委員会  
 5月26日 第33回病児保育共済会総会  
 6月1~2日 全国病児保育協議会総会施設長・主任研修会  
 6月14日 第1回運営委員会  
 くるみだより第91号発行  
 7月11日 保坂医師が内藤寿七郎国際育児賞で「育児の原理賞」受賞  
 7月12日 第2回運営委員会  
 くるみだより第92号発行  
 7月25日 役員会(賛助拡大、延長保育)  
 8月2~4日 第34回全国保育団体合同研究集会(於:静岡、職員1名、運営委員2名)  
 8月9日 第3回運営委員会  
 くるみだより第93号発行  
 9月7日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会に参加  
 藤田川保育所藤田川まつりに参加  
 9月13日 第4回運営委員会  
 くるみだより第94号発行  
 9月26日 役員会(しおり、延長保育、対市交渉・全国協議会演題発表)  
 10月11日 第5回運営委員会  
 くるみだより第95号発行  
 10月18日 他施設見学(尼崎キッズケアハウス、宝塚ひまわりルーム)

### ■枚方市との交渉■ 「他市の利用を認めて！」

11月15日対市交渉が行われました。新たな交渉内容として、市外在住者の利用について要望を出すことにしました。

枚方市近隣の市(交野市、寝屋川市)からの利用の問い合わせが多くなっている中、「子育てに、市の壁があるのはおかしい。困っているのは同じ・・・」と運営委員会でも意見が出され、他市の利用をみとめてくれるように要望していくことを決めました。

枚方市側は、他の自治体との関係もあるということで消極的な回答でしたが、子育てする同じ親の立場として、他市の利用を認めてもらえるように、今後も粘り強く交渉を

続けて行きたいと思います。

よりよい病児保育運営のためには、利用者や市民の声を市当局に届ける事が必要であり、対市交渉は、大変重要な役割を果たしていると思います。

### ■枚方子どもまつり■

毎年啓光学園で開催されていた枚方子どもまつりの会場が、学園側の都合で借りられなくなり、急遽大工大の枚方キャンパスに変更になりました。会場が遠くなったことで、来場者が来にくくなり今後の開催も心配されましたが、次年度はまた啓光学園を借りることが出来ることとなり、ほっとしました。

### ■5時間職員制度導入■

永年勤めてこられた〇〇先生が、8時間職員及び、主任を退任され、新しい看護師を迎えました。これを期に役員会で何度も話し合い、新しく5時間職員の制度を導入することにしました。この新しい体制を支え、働きやすい職場を作りサポートして行くのも共済会の役目と考えます。

- 10月20日 ギンガ保育園バザーに参加  
 10月27日 香里団地保育所バザーにー参加  
 11月8日 第6回運営委員会  
 くるみだより第96号発行  
 11月15日 対市交渉（運営委員3名、職員2名、  
 保育課3名）  
 11月17日 第26回枚方子どもまつりに参加  
 （於：大工大枚方キャンパス）  
 12月7～8日 全国協議会スタッフ研修会  
 演題発表：近畿ブロック病児保育学  
 習会について  
 共済会による延長保育の実施

- 12月13日 第7回運営委員会  
 くるみだより第97号発行

## <2003（平成15）年>

- 1月11日 第8回運営委員会  
 くるみだより第98号発行  
 1月26日 生駒子育てネットワーク主催  
 シンポジウムで講演  
 2月9日 第18回近畿ブロック病児保育学習交  
 流会（於：守口市教育文化会館）  
 2月14日 第9回運営委員  
 くるみだより第99号発行  
 2月28日 役員会（決算・予算、就業規則、  
 パンフレット）  
 3月14日 第10回運営委員会  
 くるみだより第100号発行  
 4月11日 第11回運営委員会  
 くるみだより第101号発行  
 4月25日 第12回運営委員会  
 5月9日 第13回運営委員会  
 くるみだより第102号発行  
 5月25日 第34回病児保育共済会総会  
 5月29日 対市交渉（事業報告など）  
 6月13日 第1回運営委員会  
 くるみだより第103号発行  
 6月22日 みんなで保育を考える集会参加  
 7月11日 第2回運営委員会  
 くるみだより第104号発行  
 7月20～21日 第13回全国病児保育協議会総会  
 ・研修会  
 （於：大阪、職員6名・運営委員2名）

## ■くるみだより第100号達成！■

共済会の運営委員会で意見を出し合い、各保育所に配布していただくくるみだよりが、ついに第100号を達成しました。毎年、広報の委員を引き継ぎながら、続けてこれたことを、大変うれしく思います。そういえば最初のころのニュースは手書きでしたね。それも縦書きだったと・・・。時代を感じます。



## ■利用アンケートを実施■

2004年1月、枚方市南西部の公立、私立の認可保育所を中心にアンケートを実施しました。（一部共済会会員の回答を含む）

- Q：病児保育の存在を知っていますか？  
 A：92%が知っていた。  
 Q：利用したいと思いますか？  
 A：条件が合えば利用したい17%  
 Q：利用時間についてどう思いますか？  
 A：利用しやすいと答えた人が一番多かったが、「夕方の利用時間を延長して欲しい」が15%あった。  
 Q：利用者増加への効果的な方法は？  
 A：定員を増やす。  
 他の医療機関での診察で利用できるようにする。  
 Q：利用料金についてどう思いますか？  
 A：「高い」「やや高い」を合わせると、半数をこえるが、丁度よいという回答が42%であった。

- 8月 2～4日 第35回全国保育団体合同研究集会  
(於：京都、職員4名、運営委員6名)
- 8月 15日 先生(8時間職員)退職
- 8月 9日 第3回運営委員会 台風で延期
- 9月 6日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会に参加
- 9月 12日 第3回運営委員会  
くるみだより第105号発行
- 9月 20日 藤田川保育所藤田川まつり参加  
役員会(職員募集、アンケート、パンフレット、対市交渉)
- 9月 24日 子どもまつり実行委員会
- 10月 10日 第4回運営委員会  
くるみだより第106号発行
- 10月 15日 子どもまつり模擬店会議に参加
- 10月 25日 ギンガ保育園バザーに参加
- 10月 26日 第27回枚方子どもまつりに参加  
(於：啓光学園)
- 11月 12日 対市交渉(要望書を中心に)
- 11月 14日 第5回運営委員会  
くるみだより第107号発行
- 11月 16日 香里団地保育所バザーに参加
- 12月 1日 先生5時間職員として採用
- 12月 12日 第6回運営委員会  
くるみだより第108号発行
- 12月 13日 近畿ブロック第1回実行委員会
- 12月 27日 役員会(アンケート、パンフレット)

## <2004(平成16)年>

- 1月 9日 第7回運営委員会  
くるみだより第109号発行  
病児保育についてのアンケートを保育所に配布。
- 1月 24日 近畿ブロック第2回実行委員会  
役員会
- 1月 30日 役員会
- 2月 13日 第8回運営委員会  
くるみだより第110号発行
- 2月 15日 第19回近畿北ブロック病児保育学習  
交流会(於：ラポール枚方)
- 3月 6日 近畿ブロック第3回実行委員会
- 3月 12日 第9回運営委員会  
くるみだより第111号発行
- 3月 15日 主任退職し5時間職員に  
先生が新任に 先生  
5時間職員から8時間職員に

## 《考察》

病児保育室を知るきっかけとなったのは、共済会のくるみだより、ガー番で、ついて広報ひらがた、口コミの順となっている。回答者数293人のうち「病児保育は必要ない」と回答している人の数が125人(43%)。そのうち、条件合えば利用したいと考える人も多い(77%)ため、利用しやすい条件も今後の課題である。

土曜日の保育所利用率は35%。登所時間、降所時間において、平日と同様の分布をしており、病児保育室の土曜日の開室時間は14:00までであるが、保育所の利用時間は、平日と変わらないため、土曜日の入室率と、保育所利用率を比較の上、土曜の開室時間変更の検討の余地があると思われる。

## ■延長保育その後■

1997年より始まった共済会の自主運営による延長保育は、多くの方に利用してもらい、制度として定着しています。延長保育の登録者数・利用回数は例年並みで大きながわりはありませんが、定着とともに問題が出てきました。朝の延長保育の予約を受けて職員を配置していても朝になってのキャンセルが相次ぎ入室しない日も多くなり、財政的にも単年度赤字になる傾向が見られました。

検討を重ねた結果2003年4月1日より、朝延長の利用申し込み時に、1回100円の予約金をいただくことにしました。

予定通り入室したときには、利用料300円に含め、キャンセルした場合は、100円は返金しないことに。このことで、利用者の意識を高め、延長保育をよりよい制度として継続していけるようにしたいと思えます。

また枚方市に対しては今後も対市交渉で、「延長保育」を市の事業としてもらえるように、要望を出して行きたいと思っています。

- 4月9日 第10回運営委員会  
くるみだより第112号発行
- 4月10日 枚方病児保育室開室35周年記念  
および、先生お疲れ様会・  
先生歓迎会・先生主任就  
任祝い(天安門にて)
- 4月30日 第11回運営委員会  
議案書送付
- 5月14日 第12回運営委員会  
くるみだより第113号発行
- 5月15日 大阪小児保健研究会に参加
- 5月23日 みんなで保育を考える集会参加
- 5月28日 対市交渉(事業報告など)
- 5月30日 第35回病児保育共済会総会
- 6月11日 第1回運営委員会  
くるみだより第114号発行
- 6月 枚方保育運動連絡会総会に参加
- 7月9日 第2回運営委員会  
くるみだより第115号発行
- 7月15日 先生(8時間職員)退職  
先生3時間給食職員+2時間  
職員として採用
- 7月18~19日 第14回全国病児保育協議  
会・研修会総会(於:横浜、職員1名・  
運営委員会1名)
- 7月31~8月2日 第36回全国保育団体合同  
研究集会(於:仙台、職員2名、運営  
委員1名)
- 8月6日 第3回運営委員会
- 9月4日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会に参加
- 9月10日 第4回運営委員会  
くるみだより第116号発行
- 9月21日 子どもまつり実行委員会
- 9月24日 枚方保育運動連絡会拡大幹事会  
に参加
- 9月25日 藤田川保育所藤田川まつりに参加
- 10月5日 子どもまつり模擬店会議に参加
- 10月8日 第5回運営委員会
- 10月31日 第28回こどもまつりに参加  
(於:啓光学園)
- 11月12日 第6回運営委員会  
くるみだより第117号発行  
役員会(対市交渉について)
- 11月14日 香里団地保育所バザーに参加

#### ■公団の建て替え問題が動き始まる■

ここ数年間凍結状態にあった公団の建替え問題がようやく動きはじめました。早ければ病児保育室の建替えも4?5年先には実現するかもという期待もありますが、老朽化する建物は先のがわからない建替えを待てない部分も出てきていたので、思い切って改装をしました。

コンクリート張りだった廊下の床は、グリーンクロスを貼り、木枠の扉は清潔な白の扉に新調、暗かった廊下の電灯も交換し、全体的に明るい雰囲気になりました。

#### ■枚方市内病児保育交流会が始まる■

念願だった枚方市内の病児保育の交流会が行われることになりました。

第1回目は枚方市が運営する、枚方市病児保育室で行われ、保坂先生はじめ、17名の参加がありました。子育て支援室からも3人の出席があり、最初はみんな緊張していましたが、日ごろの問題点などを課題に出し相談しあつてうちに打ち解けてきて、2時間という時間があつという間に過ぎました。

今まではそれぞれのやり方で、病児保育を運営して来ましたが、この交流会を期に、お互いの入室状況を聞いて、利用者に他の病児保育室を紹介するなど、横のつながりがもてるようになり、心強くなりました。

また平成21年8月には、枚方市に4つ目の病児保育室が出来ました。

これからは、4つの病児保育室が連携を取り合い、よりよい病児保育を作っていけたらと思います。

交流会は持ち回りでおこなわれることになり、次回は枚方病児保育室で→ピッコロケアルームという順番に施設見学を兼ねて行われます。

- 11月26日 対市交渉（要望書を中心に）  
 12月10日 第7回運営委員会  
 12月25日 近畿ブロック第1回実行委員会

■ちよつと見てみよう！  
 病児保育室■

### <2005（平成17）年>

- 1月14日 第8回運営委員会  
 くるみだより第118号発行  
 1月29日 近畿ブロック第2回実行委員会  
 2月18日 第9回運営委員会  
 くるみだより第119号発行  
 2月27日 第20回近畿北ブロック病児保育学習  
 交流会（於：寝屋川松柏苑）  
 3月11日 第10回運営委員会  
 くるみだより第120号発行  
 4月1日 役員会（予算について）  
 4月8日 第11回運営委員会  
 くるみだより第121号発行  
 4月22日 第12回運営委員会（議案書送付）  
 5月7日 ブログ開設「ちよつと見てみよう！病  
 児保育室」  
 5月13日 第13回運営委員会  
 5月22日 第36回病児保育共済会総会  
 6月3日 対市交渉（事業報告など）  
 6月10日 第1回運営委員会  
 7月8日 第2回運営委員会  
 くるみだより第122号発行  
 7月9日 枚方保育運動連絡会総会に参加  
 7月15日 バザー内容検討会  
 7月17～18日 第15回全国病児保育協議会  
 総会・研修会（於：岡山、職員2名、  
 運営委員1名）  
 7月30～8月1日 第37回全国保育団体合同  
 研究集会（於：広島、職員2名、運営  
 委員1名）  
 8月5日 第3回運営委員会  
 くるみだより第123号発行  
 8月19日 電話予約試行開始  
 8月26日 子どもまつり実行委員会  
 9月3日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会に参加  
 9月9日 第4回運営委員会  
 9月10日 藤田川保育所藤田川まつり参加  
 9月26日 子どもまつり実行委員会  
 9月30日 枚方保育運動連絡会拡大幹事会参加  
 10月7日 子どもまつり模擬店会議に参加

ブログという言葉がちまたに広がり、病児保育の利用者の不安を取り除くのに利用できるのでは・・・と思っはじめたブログ。タイトルを何にしようか？と職員同士で話し合い「ちよつと見てみよう！病児保育室」としました。子どもたちが病児保育室で過ごしている姿をデジカメで撮りパソコンにアップ。朝泣き叫んでいた子どもを心配するお母さんがパソコンで子どもが楽しく遊んでいる姿を見ることができて、安心しました。と言って下さいました。

また、田舎に住むおじいちゃんから、「日ごろ離れて暮らしているので、病気に聞くと心配でしたが、こんな施設で、暖かく見ていただいて孫も楽しそうで、病児保育に入室していると聞くといつもブログを見ています。」と言ううれしいコメントもいただきました。

初めて利用する子どもさんに、前もってブログを見せることにより、お友達が写っていたりすると、病児保育室に来るのが楽しみになるようで、皆さんいろいろな形で、ブログを楽しんで下さるようになりました。

2009年1月よりパソコンが使えないご家庭のために、携帯でも見ていただけるようにしました。ますます、閲覧者も増えてきました。

今後も喜んでくれるお顔を思い浮かべながらブログを続けて行きたいと思います。



- 10月14日 第5回運営委員会  
くるみだより第124号発行
- 10月29日 ギンガ保育園バザーに参加
- 10月30日 第28回枚方子どもまつり参加（於：啓光学園）
- 11月11日 第6回運営委員会  
くるみだより第125号発行  
役員会（対市交渉について）
- 11月13日 香里団地保育所バザーに参加
- 11月28日 対市交渉（要望書を中心に）
- 12月9日 第7回運営委員会
- 12月12日 近畿ブロック第1回実行委員会

### <2006（平成18）年>

- 1月11日 近畿ブロック第2回実行委員会
- 1月13日 第8回運営委員会  
くるみだより第126号発行
- 2月10日 第9回運営委員会
- 2月19日 第21回近畿北ブロック病児  
保育学習交流会（於：宇治市東  
コミュニティセンター）
- 2月26日 第20回全国保育所給食セミナー（参加  
職員2名）
- 3月10日 第10回運営委員会  
くるみだより第127号発行
- 4月1日 電話予約正式運用開始
- 4月14日 第11回運営委員会  
くるみだより第128号発行
- 4月21日 第12回運営委員会（議案書送付）
- 4月24日 役員会
- 5月12日 第13回運営委員会
- 5月21日 第37回病児保育共済会総会  
対市交渉（事業報告など）
- 6月9日 第1回運営委員会
- 6月17日 枚方保育運動連絡会総会参加
- 7月14日 第2回運営委員会  
くるみだより第129号発行
- 7月16～17日 第16回全国病児保育協議会  
総会・研修会（於：大阪、職員6名、運  
営委員1名）  
演題発表「電話予約を開始して」
- 7月26日 こどもまつり実行委員会
- 8月5～7日 第38回全国保育団体合同研究大会

### ■電話予約を開始して■

2005年8月のお盆明けより電話予約の試  
行を始め、2006年4月より、正式に電話予  
約の運用を開始しました。

共済会が、予約専用の携帯電話を購入  
し、毎月の運用費も負担することになりま  
した。

電話予約を利用するには、共済会の入会  
が前提となります。

今までは診察を終えた順番に入室をして  
いたため、診察が終わらないと、入室の席  
を確保できませんでした。入室を希望する  
人は順番を取るために病気の子どもを連れ  
て、朝早くからクリニックが開くのを待っ  
ていました。

電話予約を開始したことにより、電話で  
席の確保が出来るようになったので、診察  
時間にあわせて来ることが出来るようにな  
りました。電話予約が出来るようになって  
から、利用しやすくなったと保護者からも  
喜ばれています。電話予約を開始してから  
軌道に乗るまでの経過を、全国病児保育協  
議会において、パワポイントを使って演  
題発表もしました。



(於：埼玉、職員2名、運営委員1名)

- 8月11日 第3回運営委員会  
くるみだより第130号発行
- 9月2日 香里ヶ丘愛児園夕涼みに参加
- 9月8日 第4回運営委員会 役員会
- 9月12日 こどもまつり実行委員会
- 9月22日 枚方保育運動連絡会拡大幹事会参加
- 10月3日 こどもまつり模擬店会議
- 10月13日 第5回運営委員会  
くるみだより第131号発行
- 10月29日 第29回枚方子供まつりに参加  
(於：啓光学園)
- 11月10日 第6回運営委員会  
くるみだより第132号発行
- 11月12日 香里団地保育所パザーに参加
- 11月18日 藤田川保育所藤田川まつり参加
- 11月20日 対市交渉 (要望書を中心に)
- 12月8日 第7回運営委員会
- 12月9日 近畿ブロック第1回実行委員会

### <2007 (平成19) 年>

- 1月12日 第8回運営委員会  
くるみだより第133号発行
- 1月17日 枚方保育運動連絡会  
保育シンポジウムに参加
- 2月9日 第9回運営委員会
- 2月19日 第22回近畿北ブロック病児保育  
学習交流会に参加  
(於：神戸市ばっけ病児保育室)
- 3月9日 第10回運営委員会・役員会  
くるみだより第134号発行
- 3月17日 第1回枚方市病児保育交流会
- 4月13日 第11回運営委員会  
くるみだより第135号発行
- 4月27日 第12回運営委員会 (議案書送付)
- 5月1日 先生入職 (8時間職員)
- 5月11日 第13回運営委員会
- 5月27日 第38回病児保育共済会総会  
役員会
- 5月31日 先生退職 (8時間職員)
- 6月8日 第1回運営委員会
- 6月12日 対市交渉 (事業報告など)
- 7月13日 第2回運営委員会  
くるみだより第136号発行

### ■全国病児保育協議会■

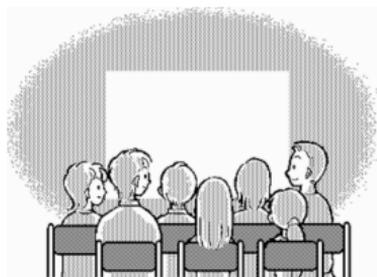
2007年の協議会は、九州の福岡で開催されました。

前日から近づいていた台風の影響で飛行機が飛ばず、急速新幹線に乗り換えて参加する人や、参加を見合わせた人も数多くいたようです。

枚方からは、遠方ということもあり、今回は職員2名の参加になりましたが、私たちは前日より現地に行き、山笠のお祭りを見ることが出来ました。中止になるはずだったお祭りですがぎりぎりになって台風がそれて、パワームなぎるお祭りを見ることが出来たのはラッキーでした。

年に一度開催される全国病児保育協議会研究大会は、参加する「一人一人の自覚と研鑽」が非常に大事と痛感させられ、大変勉強になる研修会となっています。

また今年は各地域ごとの活動を活発にするため、都道府県単位の支部も作られ、10月には大阪支部の第1回総会が開かれました。全国協議会とともに、大阪支部の研修会にも積極的に参加し、活動にも協力していきたいと思っています。



- 7月15～16日 第76回全国病児保育協議会総会  
・研修会に参加（於：九州、職員2名）
- 8月4～6日 第38回全国病児保育合同研究集会  
に参加（於：愛知、職員3名・  
運営委員1名）
- 8月10日 第3回運営委員会
- 9月8日 香里ヶ丘愛児園夕涼みに参加
- 9月14日 第4回運営委員会  
くるみだより第137号発行
- 9月14日 こどもまつり実行委員会
- 10月3日 こどもまつり模擬店会議
- 10月12日 第5回運営委員会
- 10月19日 こどもまつり実行委員会
- 10月27日 全国病児保育協議会  
第1回大阪支部総会に参加
- 10月28日 第30回枚方こどもまつりに参加  
（於：啓光学園）
- 11月7日 第2回枚方市病児保育交流会
- 11月8日 第6回運営委員会  
くるみだより第138号発行
- 11月10日 藤田川保育所藤田川まつり参加
- 11月18日 香里団地保育所バザーに参加
- 11月29日 対市交渉（要望書を中心に）
- 12月13日 第7回運営委員会

### <2008（平成20）年>

- 1月10日 第8回運営委員会  
くるみだより第139号発行
- 1月27日 地方支部合同研修会  
（於：ラポール枚方）
- 2月14日 第9回運営委員会
- 3月13日 第10回運営委員会  
くるみだより第140号発行
- 4月10日 第11回運営委員会・役員会  
くるみだより第141号発行
- 4月25日 第12回運営委員会（議案書送付）
- 5月8日 第13回運営委員
- 5月25日 第39回病児保育共済会総会
- 6月1日 地方支部合同研修会  
（於：京都、職員6名）
- 6月10日 対市交渉（事業報告など）
- 6月11日 第1回運営委員会・役員会
- 7月4日 第2回運営委員会  
くるみだより第142号発行

### ■病児保育室の変化とつばやき■

病児保育室が開室して40年ともなると、職員の年齢も上がっていき、世代交代の波がやってきました。

平成16年に 主任が再雇用となり、平成19年には、新しい職員が加わりましたが、永年勤めてこられた 主任と2時間職員の 先生がとうとう20年度で定年退職ということになりました。

今までの歴史ある病児保育室を支えてこられた方々が一度に退職となり、平成21年度は、新しい看護師さんが加わって、新たな病児保育室の始まりとなりました。

とはいうものの、21年度にはまた2時間職員の定年退職を控えており、ここ3年くらいは職員体制が落ち着かない日々が続いています。

そんな中、21年度からは枚方市との契約にも変化があり、補助金が利用実績に応じて支払われることになりました。（一人につき4000円の補助）単純計算しても、利用者が単年度で100人減れば、40万円の補助がなくなります。利用者の数が見込めない病児保育にとって、利用実績加算と言うのは、安定した補助金が得られないことにつながり、今後新しい職員を迎えるにも不安が付きまといまいます。

雇用情勢の厳しい中、延長保育の利用者も増えつつあり、職員の負担も大きくなってきています。

利用者が安心して利用できる保育室を維持していくためには、共済会との連携が不可欠となっています。

共済会の会長を10年以上務めてくださった さんも、子どもさんが保育園を卒園し、会長と交代しました。

何もかもが一度に新しくなって、40年の節目にあたり、新たに力を合わせていかなければいけない時が来たようです。

- 7月20～21日 第18回全国病児保育協議会  
総会・研修会（於：三重、職員2名）
- 8月1日 第3回運営委員会  
くるみだより第143号発行
- 8月2～3日 第39回全国保育団体合同研究集会  
（於：東京 職員1名、運営委員1名）
- 9月5日 第4回運営委員会  
香里ヶ丘愛児園夕涼み会参加
- 9月6日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会参加
- 9月17日 こどもまつり実行委員会
- 10月1日 こどもまつり模擬店会議
- 10月3日 第5回運営委員会  
くるみだより第144号発行
- 10月19日 こどもまつり宣伝活動
- 10月25日 全国病児保育協議会  
第2回大阪支部総会
- 10月26日 第31回枚方こどもまつり参加  
（於：啓光学園）
- 11月2日 香里団地保育所バザーに参加
- 11月7日 第6回運営委員会  
くるみだより第145号発行
- 11月16日 藤田川保育所藤田川まつり参加
- 11月18日 対市交渉（要望書中心に）
- 11月22日 第3回枚方市病児保育交流会
- 12月5日 第7回運営委員会・役員会  
くるみだより第146号発行
- 12月5日 枚保連拡大幹事会
- 12月13日 大阪支部定例会（於：リトルベアー）

## <2009（平成21）年>

- 1月9日 第8回運営委員会 役員会
- 2月6日 第9回運営委員会
- 2月22日 40周年記念祝賀懇親会  
（於：守口ロイヤルバインズホテル）
- 3月6日 第10回運営委員会・役員会  
くるみだより第147号発行
- 3月31日 先生退職（2時間職員）
- 4月3日 第11回運営委員会  
くるみだより第148号発行
- 4月30日 主任退職（8時間職員）
- 4月24日 第12回運営委員会
- 5月1日 先生入職（8時間職員）
- 5月8日 第13回運営委員会・役員会
- 5月24日 第40回病児保育共済会総会（於：保阪  
小児クリニックミーティングルーム）

## ■40周年記念祝賀懇親会■

2月22日守口市のロイヤルバインズホテルにおいて、病児保育室の開設40周年の記念祝賀懇親会が開催されました。

来賓、スタッフ、共済会のOBなど35名の参加がありました。

全国病児保育協議会からは、先生に勤続看護保育の功労をたたえ表彰状が贈られました。

また病児保育の現況をパワーポイントで紹介したり、ジャズピアノの演奏もあり、盛大な祝賀会となりました。

## 参加者の声

☆司会をして下さった新運営委員の  
さん、超ベテランの さん。まるで親  
子のように たが、とてもほほえまし  
い司会でした。ご苦労様でした。

☆久しぶりに歴代の会長とお顔をあわせる  
ことができ、楽しいひとりが過ぎませ  
ました。

☆豪華なお花が並んでいて華やかでした。

☆お料理きれいで美味しかった。

☆40年の重みを感じ、今後もずっと病児保  
育が発展していくことを願いました。



- 6月5日 第1回運営委員会  
7月1日 先生入職(2時間職員)  
7月3日 第2回運営委員会  
くろみだより第149号発行  
7月25~26日 第19回全国病児保育協議総会  
・研修会(於:千葉、職員2名)  
7月25~26日 第40回全国保育団体合同研究集会  
(於:大阪、職員3名、運営委員2名)  
8月7日 第3回運営委員会  
8月29日 大阪支部定例会  
(於:大阪市立中央青年センター)  
9月4日 第4回運営委員会  
こどもまつり実行委員会  
くろみだより第150号発行  
9月12日 香里ヶ丘愛児園夕涼み会参加  
10月2日 第5回運営委員会・役員会  
10月18日 こどもまつり宣伝活動  
10月24日 全国病児保育協議会  
第3回大阪支部総会  
10月25日 第32回枚方こどもまつり参加  
(於:啓光学園)  
10月31日 藤田川保育所藤田川まつり参加  
11月6日 第6回運営委員会  
くろみだより第151号発行  
11月8日 香里団地保育所バザー参加  
11月10日 対市交渉  
12月4日 第7回運営委員会  
くろみだより第152号発行



## ■戦争遺跡?■

「戦争遺跡」という言葉をご存じてでしょうか。戦争のための施設の遺構や戦争被害の痕跡などなのですが、主に太平洋戦争期のもので、例えば各地に残る防空壕跡や軍事施設・軍需工場跡などで、広島の大原ドームや沖縄の戦跡も戦争遺跡になります。近年関心が高まり、保存活動や文化財としての指定も行われるようになってい

ます。香里団地もかつて太平洋戦争期には火薬工場(陸軍香里製造所)でした。妙見山にある煙突が当時の建造物として残っていますが、実はこの病児保育室の建物も、その頃の火薬工場の建物だったらしいのです。

調べてみたのですが、枚方市史などにも、火薬工場の施設がどのように再利用されたかということは載っていないようです。「製造所跡の写真」を見ると、これがもしがしたら病児保育?という建物は写っているのですが、はっきりとは分かりません。

ただ、インターネットで調べると、「香里製造所の取函室が香里丘診療所(現病児保育室)になった」との記述があります。元の資料は分かりませんが、根拠のない話ではないでしょうか、そうだとするとやはり病児保育室は戦争遺跡である、ということになるようです。ちなみに、こもれび生活館や、元の香里ヶ丘支所の建物も同時期だそうです。「取函室」というのがどうい

う施設なのかは調べたのですが分かりませんでした。ご存じの方がいらっしゃいましたら教えて下さい。  
製造所の開設が1939(昭和14)年なので、その時の建物だとすると、2009年で70年ということになります。「爆撃にも耐える」作りで、建物自体はまだまだ頑丈で長持ちしそうなのですが・・・やはり内装・設備の古さは何とかしてもらわないと。